



鳥栖中学校区 小中一貫だより

鳥栖中学校 鳥栖小学校 鳥栖北小学校



令和2年12月21日

師走の候、鳥栖中学校区の保護者の皆様には、各学校の教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。鳥栖中学校区三校では、コロナ禍ではありますが、「学びづくり部」「生活づくり部」「仲間づくり部」「特別支援教育部」の4部で研究主題である「心豊かで、たくましく、自ら学ぶ“とすっ子”の育成」に向けていろいろな取組を行っているところです。

11月11日には、鳥栖中学校において、公開授業を行い、小学校の先生が訪問し、授業参観を行いました。真剣に授業に取り組む子どもたちを目の当たりにし、小学生との違いを実感するとともに、小・中のつながりを意識した一貫性のある教育の大切さを再認識しました。

学びづくり部

『小中一貫公開授業（鳥栖中学校）』

11月11日（水）に鳥栖中学校で小中一貫公開授業を行いました。今年は鳥栖小、鳥栖北小の先生方が中学校に来校し、中学校の授業を参観しました。先生方は各クラスの授業を自由に参観しながら、子どもたちの成長を実感していました。中学生も、小学校の先生方と久しぶりの再会を喜んでおり、どのクラスも活発な授業が行われていました。

『授業後の感想（小学校の先生方から）』

- ・どの授業でも子どもたちが生き生きと学習していた。
- ・3年間ですっかり成長した子どもたちに会うことができよかったです。
- ・電子黒板を活用して興味をもたせるような工夫があった。
- ・中学生が廊下であいさつをする姿を見て、小学生でもあのように指導しなければならないと感じた。
- ・授業の流れや発表の仕方などよく分かる授業で、小学校でもぜひやってみたいと思いました。
- ・落ち着いて学習していて、さすが中学生だと感じました。
- ・「怒りのコントロール」の授業内容が興味深く、小学校の授業でも参考にできたらと思います。
- ・1年生のいいところ探しの授業は、自分のクラスでも取り組んでみたいと思います。



仲間づくり部

『先輩達と一緒にあいさつ運動』

8月27日（木）に、鳥栖小学校・鳥栖北小学校で鳥栖中学校と合同のあいさつ運動を行いました。校門の前で中学生とあいさつを交わした小学校の子ども達は、みんなうれしそうな笑顔を浮かべていました。卒業生である鳥栖中生徒会のみなさんの成長した姿を見て、小学校の子ども達は懐かしさと共に、憧れも抱いたようです。1年に1度のことではありますが、小学生は中学生に親しみをもち、中学生は母校に恩返しをできる貴重な機会になっているのだな、と感じました。



『人権標語の交流』

2学期に、小学校と中学校それぞれで書いた人権標語の交換を行いました。掲示された人権標語の前で足を止めた小学生の子ども達は、中学生の「いじめをしないこと」や「人権を大切にすること」に対する視点の鋭さと、言葉選びの巧みさに感心していました。小学校からも中学校へ人権標語をまとめたものを送りました。中学生も、小学生が精一杯考えて書いた人権への思いを見て、何かを感じ取ってくれていればと思います。



生活づくり部

今年度も、保護者の皆様のご協力を得て、鳥栖中学校のテスト期間に合わせて、小学校では「生活リズムアップ大作戦」に取り組んでいます。1・2学期の結果から、以下のようなことが分かってきましたので、中間報告いたします。

- 「朝ご飯」について
 - ・8割以上の児童は、毎日きちんと食べていました。（1学期）1週間のうち、5日以上食べている児童がほとんどでした。
 - ・2学期も1学期とほぼ変わらず、ほとんどの児童が1週間のうち5日以上は食べているようです。
- 「早寝」について
 - ・どの学年も決められた時間に寝ている児童は、5割ほどでした。
 - ・決められた時間までに寝られない理由としては、「習い事で帰りが遅くなるから」というものが多く見られました。
- 全体として
 - ・「生活リズムアップ大作戦があるときは、早く寝るようにしている」「生活リズムに気をつけている」という児童の感想が多く寄せられました。「去年より〇の数が増えた」と自分の成長を実感できている児童も多かったです。

以上のことから、「生活リズムアップ大作戦」は、児童が、自ら日頃の生活を振り返る取組として大変意義があるものだと思います。3学期もご協力をよろしくお願いいたします。

特別支援教育部

『自立活動「チャレンジ！わくわくサーキット」』

2学期に、鳥栖北小学校では、病弱・肢体不自由・知的障害学級合同で、自立活動「チャレンジ！わくわくサーキット」の活動に取り組みました。

この単元は、「楽しく活動することを通して、日常生活および学習に必要な身体の動きを高めることができる」ことが目標です。

子ども達は、「①ジグザグ・ケンパ・ランニング」「②シュートゲーム」「③引っ張りロープ」「④跳び箱」「⑤ごろごろマット」「⑥平均台」の6つの場を設定したサーキットで走る、跳ぶ、投げる等のさまざまな動きを楽しみました。



「一人で渡れるようになったよ（平均台）」「5本も入ったよ（シュートゲーム）」「速く行けるようになったよ（ジグザグ・ケンパ・ランニング）」など、達成感、満足感を感じられる声が、子ども達からたくさん聞かれました。

後片づけもみんなと一緒にやって、友達と協力することの大切さを学んでいました。



